

パープルコートの07 メス・鹿毛 2007年4月11日生

全40口 ●1口25万円 (総額1,000万円)

生産 日高町・中前義隆 繋養 ノーザンファームYearling

タニノギムレット  
鹿 1999\*ブライアンズタイム  
Brian's Time  
黒鹿 1985Roberto  
Kelley's DayHail to Reason  
Bramalea  
Graustark  
Golden Trailタニノクリスタル  
栗 1988\*クリスタルパレス  
\*タニノシーバードCaro  
Hermieres  
Sea Bird  
Flaxenパープルコート  
黒鹿 1995\*アレミロード  
Allez Milord  
鹿 1983Tom Rolfe  
Why Me LordRibot  
Pocahontas  
Bold Reasoning  
Tomorrowlandザラストワード  
鹿 1987\*ノーザンテースト  
グロリアウェーブNorthern Dancer  
Lady Victoria  
\*シルバーシャーク  
\*ブルーウェーブ(2)

## ポイント

## POINT

サンデー系を凌駕する大物も輩出するブライアンズタイム系ですが、いわゆるグッドルッキングホースが少なく、全体バランスで見ても、パーツレベルで見てもセオリー通りに馬体を見極めるのが難しいと感じています。タニノギムレットもその例に漏れず産駒選択の難易度が高い種牡馬といえますが、これまでの活躍馬を観察すると筋肉量に恵まれた馬が比較的良績をあげている印象です。本馬はキ甲の付け根から頭頂までが長く、肩・胸・腕まわりの筋肉量に恵まれ父の特徴を受け継いでいます。立ち気味の母系の肩甲骨の角度も父との配合でほどよく中和され、全身を伸長させるフットワークを可能にしています。